

## 22年度 第12回運営委員会だより

開催日：2023-6-4(日) 於：みどりの相談所 研修室 13:30～

出席者：上田、尾内、尾越、乙坂、垣内、木村、佐々木、島谷、砂川(延)、須増、高島  
徳本、野村、春本、平井、藤本、藤原(千)、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田

### 議題

#### (1) 23年度 夏山集中 取り組みその後

##### ①提案コース：参加者合計 39名

- (a) 西穂高岳・独標 (L: 砂川) 2泊3日 17名
- (b) 岳沢～前穂・奥穂高 (L: 尾内) 3泊4日 4名
- (c) 槍ヶ岳・表銀座 (L: 須増) 5泊6日 5名
- (d) 折立～雲ノ平～新穂高温泉 (L: 野村) 3泊4日 6名
- (e) 新穂高温泉～槍ヶ岳 (L: 上田) 4泊5日 7名

- ②復路のバス代負担額：約15,000円/人(見積り45万円で利用者31名)と高額になる。
- ③6月4日の再募集結果で播磨中央公園下車がないので、加古川バイパス経由に変更する。
- ④帰宅日(8月23日)の出発を、上高地散策・昼食後の13時に変更する。
- ⑤西糸屋山荘対応を上田から森本に変更する。(6月例会後)

#### (2) 第23回定期総会について

- ①草案作成担当表と作成スケジュール：事務局送付資料に基づき進める。
- ②6月23日(金)かこむでの18時からの臨時運営委員会で議案書の最終確認を行う。
- ③日程：7月2日(日)午前9時から12時まで ※みどりの相談所研修室で開催する。
- ④運営委員退任：垣内
- ⑤姫路地区は、8月以降みどりの相談所研修室で加古川・高砂地区と合同で例会を行う。
- ⑥加西地区は現行通り善防で行う。3地区合同は、現行通り1月と7月(総会)で行う。

#### (3) 「初めての山歩き教室」取り組みの現状について

- ①本日、実技4回目をみどりの相談所研修室で例会見学後、高御位山に登った。
- ②次回の座学5回目以降、氷ノ山終了山行までスケジュール通り進める。
- ③受講生の内、1名は夏山集中山行の①コースに参加するため、入会手続きを終えた。

#### (4) 女性委員会(5月16日) 山行計画

- ①専門部として女性委員会のあり方、存続について検討  
女性委員会のメリット：リーダーをし易い・参加しやすい・コースが歩き易い等の意見があり存続することにした。
- ②5月16日(火)に7月～12月の山行計画を立案した(一部男性参加可能あり)。

#### (5) 5月で退会；谷口、小林、藤井

#### (6) 第2駐車場使用の徹底：みどりの相談所横の駐車場は、休日家族連れで満車となるので使用しないこと。

## 22年度 第11回運営委員会だより

開催日：2023-5-7(日) 於：高砂市総合体育館 13:00～

出席者：上田、尾内、尾越、小田、垣内、木村、佐々木、島谷、砂川(延)、須増、高島  
徳本、野村、春本、平井、藤原(千)、松下、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田

### 議題

#### (1) 23年度 夏山集中登山のコース提案

①日程については、8月22日(火) 上高地西糸屋山荘集中で進める。

②提案コース：参加者合計 39名

- |                  |         |      |     |
|------------------|---------|------|-----|
| (a) 西穂高岳・独標      | (L: 砂川) | 2泊3日 | 18名 |
| (b) 岳沢～前穂・奥穂高    | (L: 尾内) | 3泊4日 | 4名  |
| (c) 槍ヶ岳・表銀座      | (L: 須増) | 5泊6日 | 5名  |
| (d) 折立～雲ノ平～新穂高温泉 | (L: 野村) | 4泊5日 | 7名  |
| (e) 新穂高温泉～槍ヶ岳    | (L: 上田) | 4泊5日 | 5名  |

#### (2) 第23回定期総会について

①草案作成担当表と作成スケジュール：事務局送付資料に基づき進める。

②草案提出期限は、6月5日(月)である。・・・来期の方針も入れる。

③6月23日(金) かこむでの18時からの臨時運営委員会で草案の最終確認を行う。

#### (3) 第23回定期総会日程

①日程：7月2日(日) 午前9時から

②会場：市ノ池研修室を予約済。・・・人数制限が解除の場合、下記の予備を解約する。

※予備としてユアアイ帆つとセンターの交流スペース①②③も予約済。

#### (4) 「初めての山歩き教室」取り組みの現状について

①現在の受講生は、会員1名を含めて7名である。

②第1回の座学と実技は、5月6日(土)に変更し総合体育館で座学の後、竜山を登った。  
土曜トレメンバーも座学と実技に同行した。

③今後のスケジュールは、当初の予定通り進める。

#### (5) 女性委員会の存続について

①ジェンダー平等等の観点から廃止の意見も出たが、・・・リーダーをし易い・参加しやすい  
・コースが歩き易い・山行後の食事が楽しみ等のメリットがあり存続することにした。

尚、今後は男性の参加も歓迎する山行を考えていく。

②5月16日(火) 市ノ池研修室で9時から女性委員会の山行計画を立案する。

#### (6) 県連 定期総会代議員の選出

以下の4名を選出した。(乙坂、小田、野村、春本)

## 22年度 第10回運営委員会だより

開催日：2023-4-2(日) 於：高砂市総合体育館 13:30～

出席者：上田、尾内、尾越、小田、垣内、木村、佐々木、島谷、砂川(延)、須増、荘所  
高島、徳本、野村、春本、平井、藤本、藤原(千)、松下、森本、安田、矢根、和田

### 議題

#### (1) 23年度 夏山集中登山の取り組み方

- ①日程については、8月22日(火)集中を進める。  
山行計画は8月20日(日)～23日(火)間の予定
- ②山行先は下記4コースで、リーダーは概算費用を含め、山行案内を作成する。  
・西穂高(砂川)、・表銀座(須増)、・雲ノ平(野村)、・奥穂高(尾内)
- ③例会前にメールで会員に事前連絡を行い、5月7日の例会で募集する。

#### (2) 定期総会の日程は、7月2日(日)を進める。

- ①草案検討の臨時運営委員会：6月23日(金)かこむ会議室B 18:00～。
- ②草案項目の担当者については、5月7日の運営委員会で確認する。
- ③会場は、市ノ池研修室の予定。※予備でユアアイ帆つとセンターを予約する。
- ④総会は、臨時運営委員会を含めて午前中に終了する。

#### (3) 初めての山歩き教室の取り組みについて

- ①4月2日時点の申込者は3名であり、今後の取り組みについて担当者会議で検討する。
- ②チラシ配布状況  
・かこむ ・ユアアイ帆つとセンター ・高砂市内公民館 ・高御位山山頂  
・長尾登山口観光案内所 ・加古川西市民センター ・両荘公民館 ・姫路市内公民館  
・善坊公民館 ・好日山荘(三ノ宮、姫路)・例会会場(加古川、姫路、加西)・新聞社  
※高砂市中央公民館から断りあり

#### (4) 退会者(竹内さん)の件

※アルプの体制確立は？総会までは松下が、担当する。

#### (5) その他：

- ①今秋に東日本大震災後の石巻市・女川訪問、東栗駒・蔵王山行へ  
・10月8日(日)～10日(火)でゆっくり隊と一般隊の合同で行う。  
・ゆっくり隊：神戸空港～仙台空港～石巻～女川～牡鹿半島～仙台空港～神戸空港  
・一般隊：神戸空港～仙台空港～石巻～東黒駒～蔵王～熊野岳・刈田岳～仙台空港～神戸空港
- ②富士山プロジェクトの取組みについて  
・箱根縦走計画：4月23日(日)～25日(火)で実施予定。  
会報にはメンバー、日程、コース、行動記録を記載する。  
・富士山登頂計画：7月15日(土)～18日(火)で計画中。
- ③山行リーダーは、感想文を編集委員担当者(山本清香)に送付する際は、参加者が分かる山行計画書も同時に送付する。
- ④北岳山行 9月23日～27日 L：島谷を追加する。
- ⑤行事予定表に第5土曜日の地区別土曜トレを追記する。

## 22年度 第9回運営委員会だより

開催日：2023-3-5(日) 於：市ノ池緑の相談所・研修室 13:30～

出席者：上田、尾内、尾越、小田、乙坂、垣内、佐々木、島谷、砂川(延)、須増、荘所

徳本、野村、春本、平井、藤本、藤原(千)、松下、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田

### 議題

#### (1) 第23回 初めての山歩き教室の取り組みについて

- ①第1回担当者会議を2月10日にかこむの活動ブースで行った。
- ②座学は、ユーアイ帆っとセンターで4月12日から第2、第4水曜日で実施する。
- ③座学と実技の日程と7月8日からの終了山行先として氷ノ山を決定した。
- ④氷ノ山の宿泊先の「やねや」の予約を10名程度で終了した。
- ⑤チラシを300枚印刷済で配布の手配を行った。

#### (2) 23年度 夏山集中登山の取組み方

- ①日程については、8月22日(火)集中で進める。山行計画は8月20日から23日の予定。
- ②集中は上高地の西糸屋山荘とし、山行先は北アルプス周辺とする。
- ③コース案として下記が提案されている。
  - ・ロープウェイを使用し西穂高・表銀座・雲ノ平
- ④40名～50名程度で西糸屋山荘の予約を行い、確約後各リーダーが計画を作成する。
- ⑤4月の運営委員会でコースを確定し、会員にメールで通知、5月に山行募集を行う。

#### (3) 定期総会の日程は、7月2日(日)で進める。

- ①会場の確保：みどりの相談所・研修室又はユーアイ帆っとセンターで進める。
- ②臨時運営委員会を6月23日(金)にかこむで行う。

#### (4) 土曜トレ委員会の報告

- ①2月25日に善防公民館で開催し、4月～9月の月別リーダーと合同トレのコース・テーマ・講師を決定した。
- ②第2土曜日のトレを市ノ池で脚力別の3コース(S、M、L)に分けてテスト的に行って見る。
- ③土曜トレ中の事故対応として、各自救急セットを持参する、事故一報は佐々木が作成する、第2土曜の脚力別トレに、簡略版計画書(スタート前に手書きでメンバー等を記入)を作成する。
- ④9月23日・24日に千町小屋合宿を行う。
  - 小屋への往復は、生野駅～段々峰～千町小屋間を歩く。
- ⑤高森ボランティアと土曜トレ：本来別組織であるが、当面現状で進める。
  - 高森ボランティアでの決定場所で土曜トレを行う。

#### (5) 退会者の紹介：1月末での退会者(藤田宏一さん、松井雅子さん)

#### (6) その他：

- ・4月から加古川・高砂地区の山行申込担当を変更する(尾越→徳本)。
- ・4月8日の花見：参加者は36名で、当日の買出しは徳本・松下・森本で行う。

## 22年度 第8回運営委員会だより

開催日：2023-2-5(日) 於：高砂市総合体育館 13:00～

出席者：上田、尾内、小田、乙坂、垣内、木村、佐々木、島谷、須増、荘所、高島、徳本  
野村、春本、平井、藤本、藤原(千)、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田

### 議題

#### (1) 第23回 初めての山歩き教室の取組みについて

※担当者会議で取組み方を検討する。

※今年は、高砂・加古川を中心にユアアイ帆っとセンターでの実施を予定している。

①今週後半かこむの活動ブースで担当者会議を開催する。

②参加者は、会長及び地区担当(尾内、垣内、木村、春本、藤原(千)、安田、矢根)

③日程調整を行う。第1、3水曜日に開催の予定。

④講師への依頼は、担当者会議のあとに行う。

#### (2) 23年度夏山集中登山取組み方

①日程については、8月22日(火)集中とする。山行計画は8月20日～23日?

②山行先は?立山周辺、九州・九重連山、上高地:槍・穂高連峰?

③宿の手配関係から、3月には山行先を決める必要あり。

④山行先として、白山は集中を考えにくい。立山での可能性はある。夏の九州は暑い。

⑤コース設定では、上高地の方がはるかに選択の幅が広い。

⑥参加見込み数は、今年は入会者が多いため50名前後の可能性あり、上高地では西糸屋山荘があるが、立山(室堂?)では思い浮かばない。

⑦立山での集中の可能性を確認する必要がある。コースや宿泊先の提案が必要(会長)。

⑧北アルプスの希望者は多いので、毎年夏山集中は北アルプスと決めてはどうか?

⑨集中の翌日に全員で帰宅するのではなく、登山前に集中するグループと登山後に集中するグループがあってもいいのではないか?

往路と復路を別グループで使うと、現地で運転手やバスを遊ばせることや片道を空車で走らせることもなく交通費の節約になる。

#### (3) 今年の救急救命講習会について

①人事異動で担当者が4月に替わるので、それ以降に確認する。

②7月の定期総会のあとがベターである。人数制限の有無により、運営委員会限定か判断する。

#### (4) 高森ボランティアの担当者について

・高森ボランティアを土曜トレに含める方向で、2月25日の土曜トレ委員会で検討する。

#### (5) 会の装備品について

・次回の土曜トレ(テント設営講習会)時にテントの点検を行う。ファスナー破損や防水問題あり。

#### (6) ゆっくりリズム・グループを検討したい。

・山域研究会で立ち上げたい。低山・スロートレッキングに繋がる山域を発掘したい。

#### (7) その他

①花見:3月の高御位例会で募集を行う。(会費:1,000円、4月の例会で徴収)

②姫路地区の清掃登山:清掃登山を確実に実施するために、第2土曜日の土曜トレを高御位山の合同トレに変更し、姫路地区は清掃登山とする。(2月25日の土曜トレ委員会で検討する)

## 22年度 第7回運営委員会だより

開催日：2023-1-8(日) 於：高砂市総合体育館 13:00～

出席者：上田、尾内、尾越、小田、垣内、木村、佐々木、島谷、砂川(延)、須増、荘所  
高島、徳本、野村、春本、藤原(千)、松下、三木(悦)、森本、安田

### 議題

#### (1) 納山会 12月10日(土)～11日(日)の反省会

- ①御岳コース(L:砂川) 小金口～御岳～大峠：最後の登りは厳しかったが、時間的に丁度。ゆっくり歩いて良かった。
- ②小金ヶ岳コース(L:尾内) 小金口～小金ヶ岳～大峠～御岳～奥畑登山口の予定だったが、岩場が多くて時間が掛かり、後半を御岳～大峠に変更した。全員揃って歩いて良かった。半日位の山歩きに丁度良いコース。  
チャンスがあれば、御岳～火打岩～奥畑を歩きたい。
- ③全国旅行支援(5000円)・観光クーポン(1000円)や2日目の新たんば荘での食事も良かった。
- ④往路の途中でのトイレ休憩が必要である。

#### (2) 姫路地区学習会 1月18日(水)から

- ①飾磨図書館分館で午後7時から
- ②教室以外の入会者も参加する。(教室15名+4名) 会場が使用可能か確認する。
- ③加西地区の学習は終了したが、コロナで開始が遅れ、概念図・シルバコンパスの講座が抜けている。善防での補講を計画する。

#### (3) 第23回 初めての山歩き教室の取り組みについて

- ・高砂地区での開催となるが、コロナの影響が懸念される。予定通り開催するか検討する。

#### (4) 高御位例会の運営方について ※清掃登山の取り扱い

- ①善防公民館での例会後に清掃登山を実施しているが、13時からの運営委員会のために、11時半頃下山するため、十分に山歩きができない。
- ②運営委員会の開始時刻を13時半に変更する。
- ③会場を市ノ池研修棟に変更する。

#### (5) 23年の夏山について 週末は山小屋が混むので平日の集中にしてはどうか？

- ①8月22日(火) 集中で、8月21日～23日でどうか？
- ②日程と集中先を次回の運営委員会で検討する。

#### (6) ゆっくりリズム・グループを検討したい。標高や歩行時間を考慮した山行計画を。

- ・一般山行に参加しづらい会員でゆっくり歩くグループを作りたい。

#### (7) その他

- ①三木勉さんは、11月末で退会となった。
- ②労山基金の入退会処理担当を変更する。(松下⇒小田)
- ③山行中の下山後の一般道での転倒事故や1日のみの通院も労山基金の対象である。

## 22年度 第6回運営委員会だより

開催日：2022-12-4(日) 於：かこむ「創作工房 B」

出席者：上田、尾内、尾越、小田、垣内、木村、佐々木、島谷、砂川(延)、須増、荘所、高島  
徳本、野村、春本、平井、藤本、藤原(千)、松下、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田

### 議題

#### (1) 三地区分離について

- ① 遠方の会員が増えており、全員収容する会場探しも困難なため、三地区分離を進めたい。
- ② 当面は現行通りの地区別例会を継続し、業務については一体運営を続けていく。

#### (2) 納山会 12月10日(日)～11日(日)

- ① 10日：乗車場所・時間：高砂駅北口・8:30～JR宝殿駅・8:45～播磨中央公園9:30
- ② 10日：(a)(b)2コースの設定  
(a) ゆっくりズム御岳：奥畑分岐(下車)～鳥居堂跡～御岳～大吡峠  
(b) コース確認後迎えの車へ下山連絡  
(b) 一般：小金ヶ岳・御岳縦走：小金口(下車)～福泉寺跡～小金ヶ岳～御岳～火打岩 or 奥畑分岐  
※歩行時間(a):約2時間50分 (b)約4時間30分

#### ③ 11日(日)

朝食後 08:30 出発、篠山市内へ。八上山下山口 11:15、大正ロマン館 11:30、新たんば荘へ(昼食)

※市内散策・篠山城見学又は八上城址登山

※全国旅行支援金：5000円/人 観光クーポン：1000円/人

#### ④ 帰路は、JR加古川駅にも停車する。

#### (3) 六甲全山縦走大会

- ① 参加費 半縦:1,500円、前縦:1,700円。12月1日以降一般参加者と同等で半縦:1700円、全縦:2000円。
- ② 申し込みは、会員名、参加コース、メールアドレス等のサポート会登録を行う。
- ③ 高御位山遊会の申し込み結果:全縦(3名)、東半縦(4名)、西半縦走(5名)

#### (4) 富士山プロジェクト

- ① トレーニング山行として4月9日～11日に箱根縦走を計画中。(メンバー限定)
- ② 一般山行として、6月に2500m級のトレーニング山行を計画中である。

#### (5) 荒井中学校トライやるウィークの報告

・予定通り終了した。今年は加古川のナックルフォア・自転車を止めて、市内の山に絞った。

#### (6) 女性委員会の報告

11月26日に女性委員会を開催した。

#### (7) 山行募集について

1月から姫路地区の山行募集担当を上田さんに変更する。

#### (8) 会費の納入方法について

・現在は、6ヶ月単位の納入が原則であるが、1ヶ月のみも認めている。会計担当の負担軽減のため6ヶ月限定にしてはどうか？現行に比べて負担は余り変わらない。毎月会費を払い、例会に参加することにも意義があるので現行通りとする。

#### (9) ご来光登山について：高御位神社初詣での奉納金：5000円を例年通り行う。

#### (10) 会報の山行案内の歩行時間表記について

・現在、歩行時間の表記は、(a)(休憩を含む)、(b)(休憩を含まず)、(c)かっこ表記なしがある。歩行時間は実動時間が原則であり、今後休憩を含む時のみ記載する。

## 22年度 第5回運営委員会だより

開催日：2022-11-6(日) 於：ユーアイ帆っとセンター 14:00～

出席者：上田、尾内、小田、乙坂、垣内、木村、佐々木、島谷、砂川(延)、須増、高島、徳本  
野村、春本、平井、藤本、藤原(千)、松下、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田

### 議題

- (1) 山本正嘉先生講演会の報告について
  - ① 全体のまとめ：森本 感想文：高島、黒本、本田
  - ② 「HCはりま」の大向さんのまとめが、兵庫労山11月号に掲載され好評である。会報「高御位山遊会」12月号には全体のまとめと3名の感想文を掲載の予定。
  - ③ 田中重忠さんの写真が、先生の講座を忠実に反映している。
  - ④ 講座内容の要所、要所を映した田中さんの写真、平石さんの会場全景を映した写真、森本さんのまとめ、3名の感想文などをCDに落とし込んで先生に送る予定。
- (2) 三地区分離について
  - ・ 三地区分離の趣旨は、会員数が100名近くに迫っており、在住地も広範囲になっている。例会の会場探しもコロナの影響で人数制限もあり苦慮している。このような関係で例會場所を姫路地区・加古川高砂地区・加西地区に分離して開催する。そのため仕組み作りを考えたい。各専門部と相談しながら進めたい。山行人数を減らす為にも三地区分離を進めたい。
- (3) 六甲全山縦走大会・高御位山遊会の任務について
  - ① 高御位山遊会は協力会として申請するが、アンカー・安全対策等の分担はしない。
  - ② 総勢600名枠を設定し会員優先、11月30日期限内で申し込みをする。
  - ③ 参加費 半縦：1500円、全縦：1700円、期限を過ぎると一般参加者同等の300円増となる。
  - ④ 申込は、会員名・参加コース・メールアドレスを登録する。
  - ⑤ 協力会にならないと、参加者はバラバラに協力会に申し込みや下山連絡が必要となる。
  - ⑥ 高御位山遊会は会員受入会のみで、事前トレ・スタッフやアンカー派遣・一般受入等はやらない。
  - ⑦ 申し込みは、全縦：3名・西半縦：3名・東半縦：2名の8名である。
- (4) 納山会 12月10日(土)～11日(日)について
  - ① コースの設定 (a)ゆっくりズム：御岳、(b)小金ヶ岳～御岳 (a)(b)は交差山行
  - ② 新たんば荘1泊2食シニアプラン鍋コース：12、760円(60才以上)  
昼食の要請あり(とろろカツ御膳：1、350円)
  - ③ 参加者は16名で、12月の例会でも募集する。
  - ④ 2日目は通常通り篠山市街散策だが、朝食後八上山登山のため送迎を依頼する。
- (5) 学習会の取り組みについて
  - ① 12月20日で終了する。11月2日～3日 大台ヶ原で終了山行を実施。
  - ② 今年の入会者を対象に来年1月18日から開始する。
  - ③ 毎月第1・3水曜日に6時30分から飾磨市民センターで開催する。
  - ④ 新規入会者：11月入会：岡田(郁)(加古川) 12月入会：松尾・宮川(姫路)



- (6) 「HC はりま」から平荘湖での高森ボランティア活動へ参加申し入れがある。
- (7) 兵庫労山自然保護委員会から署名の依頼
- ・地球温暖化対策から大規模なメガソーラーや風力発電の設置などで広範な自然破壊が危惧されており、早急な法整備が求められている中で、「全国再エネ問題連絡会」から署名要請が来ている。
- (8) その他
- ① 山行提案（高島）：3月6日（月）～8日（水）の天城山・河津桜山行を追加する。  
会報12月号の山行案内に記載し、1月の合同例会で募集する。  
募集人数は、L・SL・アドバイザーを除いて6名である。
  - ② 別所中池の堤防から桶居山ルートへの丸太の橋が老朽化している。危険喚起のためか、柵が設置されており、渡る時は2人以上同時に渡らずに、一人ずつ静かに渡ること。

## 22年度 第4回運営委員会だより

開催日：2022-10-2(日) 於：高砂市文化保健センター 13:00～

出席者：上田、尾越、小田、垣内、佐々木、島谷、砂川(延)、須増、高島、荘所、徳本  
野村、春本、平井、藤本、藤原(千)、松下、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田

### 議題

- (1) 夏山集中登山を終了して
  - ① 高山病対策(2000m越えの山々)：体質的な問題があり克服困難な面もある。  
夏山の取り組みとして、事前に話し合いが必要である。
  - ② アルプス方面登山の初体験者の課題
  - ③ 10名を超えるパーティーはアルプス方面に限らず人数制限は？：10名を超えると全体の動向の把握が困難になる。SLが先頭でLが最後尾で全体を見守る案もある。  
来年の夏山の検討課題である。
  - ④ 仲田さんの事故について：松本市の病院からのタクシー代金は、(会則：会計運用細則5) その他・運営委員会が認めた費用は、会が負担する)に則り、会から負担する。
  - ⑤ 富士山プロジェクトの取り組みについて：会報記載と合同例会での説明通りで進める。  
来年7月富士山登頂、4、5、6月の事前トレの参加は強制ではない。名称は、「運営委員錬成山行富士山プロジェクト」でなく「富士山プロジェクト」とする。
  - ⑥ 藤原さんの山行計画提案：2020年5月に計画し中止とした箱根金時山山行を追加提案したい。12月6日から8日でゆっくりズム専門委員の親睦を深めることを目的に専門委員8名限定とする。
- (2) 運営委員会の今後の日程は：従来通りの高御位例会終了後に行う。
- (3) 山本正嘉先生講演会について、その後
  - ① 県連盟からは、協賛金3万円の支給が常任議事会で承認されている。
  - ② 参加人数は、高御位山遊会70名、県連盟・明石山の会・HCハリマの参加者数は確認中。
  - ③ 一般募集は？：友人・知人にも声掛けを行う。
  - ④ 山本先生に手土産を準備する。運営委員集合：13時。当日各会の参加者数のみ発表する。
- (4) 高御位山遊会を3地区に分離について
  - ① 全体の構成を示すことが、まず必要では？  
(合同・分離の項目：会則、会報、運営委員会、山行計画、安全対策、教育、会計、労山基金、教室等)：会長が提案する。
  - ② 検討委員会の設置は？：来月会長が提案する。(3地区責任者?)
- (5) 六甲全山縦走大会2023の取り組みについて
  - ① 協力会の新設：下山連絡受け、スタッフ、一般参加者の事前トレ等の対応で会員増。
  - ② 協力会の加入要請に対し、加入しない事とする。
- (6) その他
  - ① 登山時報の発行が来年から季刊誌に変更：電子媒体やHPでの閲覧となる。  
紙媒体は、年間1000円で個人の申込みとなる。
  - ② 会報は、編集委員の負担軽減と印刷用紙入手困難のため、カラーページの印刷を業者に委託する。かこむでの白黒印刷と製本は従来通りとする。

## 22年度 第3回運営委員会だより

開催日：2022-9-4(日) 於：みどりの相談所研修室 9:00～  
出席者：上田、小田、乙坂、垣内、木村、佐々木、島谷、砂川(延)、須増、高島、荘所、竹内  
徳本、野村、春本、藤本、藤原、松下、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田

### 議題

- (1) 山本正嘉先生講演会について
  - ① 20周年記念講演チラシと先生からの申し入れについて:(例会でチラシと資料を配布)
  - ② 参加者名簿の提出:(氏名、住所、電話番号、体温)を記入する。
  - ③ 9月4日の高御位例会で出欠の確認を行う。
  - ④ 謝礼は、交通費・食事込みで10万円を包む。
  - ⑤ 山電高砂駅から会場間の送迎を行う。
  - ⑥ 県連からの協賛金が出れば受け取る。
  - ⑦ 県連、明石山の会、HCはりまからの参加者を確認しておく。
  - ⑧ 1時:受付開始、1時半:入場開始、2時:講演開始、3時半:質疑を入れて終了
  - ⑨ 会長:一般席で待機、初めの挨拶と終わりの挨拶を行う。
  - ⑩ 司会は森本、マイクは3本(講師、司会、会場)
  - ⑪ 垂れ幕(0.9X2.7m)は、藤本が作成する。
  - ⑫ 運営委員は、1時に集合し準備を行う。
- (2) 新入会員の確認と所属地区の取り扱い
  - ・ 入会者12名は、加西地区4名(岡田、岡林、小林、松岡)、姫路地区8名(稲見、江崎、北川、敷田、田中、松田、三木、白井)である。但し、田中浩幸さんの入会手続きは、今月完了の予定である。
- (3) 22年度 組織体制の検討
  - ・ 先月の運営委員の見直しに基づき、本日専門委員の募集を行い、22年度の組織体制をスタートさせる。
- (4) 夏山集中の報告
  - ① 焼岳班の下山中の滑落事故に関して、約30m転落したが頭部や手足の骨折がなく、顔面のすり傷と鼻骨の骨折で済んだのは奇跡的で、不幸中の幸いであった。9月10日に反省会を行う。
  - ② 会計精算の返金は、10月2日の合同例会時に個人別に仕分けして各リーダーに渡す。
- (5) 今年の荒井中学校トライやる取り組みについて
  - ① 昨年はコロナの関係で中止であったが、今年は10名程度の受け入れ要請が来ている。
  - ② カリキュラムは、例年高御位山・日笠山・加古川ナックルフォア一等を行なっているが、今年は見直したい。検討会を計画する。
- (6) 高御位山遊会を3地区に分離
  - ・ 会報のあり方や印刷の現状について(会員の増加による印刷部数増への対応方)
  - ① 編集委員に負担軽減のため、現在の会報の内、カラー印刷部分のみを印刷業者に委託を検討するため、見積りを依頼する。
  - ② 合同例会を3か月毎から分離を考慮して6か月毎も考える。
  - ③ 姫路地区の例会場所として市ノ池は遠方なので、京見山にも近い勝原市民センターも検討する。
- (7) 富士山プロジェクト(高島)
  - ・ 8月10日からの一合目から剣ヶ峰へのチャレンジが、台風のため八合目で断念した。6名限定で来年再チャレンジしたい。

## 22年度 第2回運営委員会だより

開催日：2022-8-7(日) 於：高砂市総合体育館 11:00～  
出席者：上田、尾内、尾越、小田、垣内、木村、島谷、砂川(延)、須増、徳本、野村、春本、平井、藤本、松下、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田

### 議題

- (1) 第22回「初めての山歩き教室」の取り組みその後
  - ① 新入会者の紹介について  
姫路地区：7名、加西地区：4名・・・合計11名が入会された。  
(稲見、江崎、岡田(淳)、岡林、北川、小林、敷田、松岡、松田、三木(知)、臼井)
  - ② 入会希望者で本日の例会欠席者は、来月入会を呼び掛ける。
- (2) 夏山集中・西糸屋山荘の部屋割り、その他について
  - ① 山小屋の予約状況：参加は48名で、(2)コース以外は山小屋の予約完了。
  - ② (2)コースは、蝶が岳ヒュッテの予約が12名中9名完了、再度追加を確認する。
  - ③ 全体の会計担当：矢根・徳本、夕食のアシスト：小田、笹木。  
帰宅後に請求書が届き、振込後に精算を行う。
  - ④ 夕食時の飲み物の注文：男女同一1,100円で予約する。(合計金額：53,800円)。  
座席は、コース毎に番号札の場所に座る。
  - ⑤ アルピコ交通：運転手の名前と携帯電話番号は、出発前日に決まる。  
各降車場所の人数を知らせておく。
- (3) 22年度 組織体制の検討
  - ① 組織交流部：砂川(延)、国民平和行進：須増、播磨地区交流会議：砂川(延)  
六甲全山縦走：野村(担当者会議不都合時は、専門委員で対応)、海外トレッキング：三木(悦)(コロナ禍で活動困難だが組織として残しておく)、スロートレッキング：砂川(延)、セカンドステップ：和田、女性委員会：木村、講師陣：野村を追加
  - ② 9月4日の運営委員会で救急セットの更新品を運営委員に支給する。(2年ごと)
  - ③ ポイズンリムーバーの姫路地区支給分(2セット)の確認をする。
- (4) 運営委員会の日程について  
・運営委員会を高御位例会前に行いたい、開催日程・場所や清掃登山の関係で困難であり、従来通りで進める。(原則：地区別例会を9時から、運営委員会を13時から開催)
- (5) 高御位山遊会を3地区に分離
  - ① 合同例会の会場確保が困難になっており、3地区分離を考えてほしい。
  - ② 会則・例会・会報・山行等を分割する方向で。山行計画も全体や地区独自でも良い。
  - ③ 全体像を明確にしないと前に進めない、検討委員会を作ってはどうか？
  - ④ 来年に向けて年末までに考えてほしい。
- (6) 山本正嘉先生講演会：県連の後援？講演費用？  
※議題：「低山登山がもたらす恩恵と、その具体的な実施方について」過去の講演から
  - ① 県連から後援が取れるかどうか、常任理事会で確認する。(須増)
  - ② 播磨地区は、合同開催でなく招待とする。
  - ③ 高御位山遊会が主催として、事業積立金を使用してもいいのではないかと？
- (7) その他
  - ① 労山基金オンライン説明会(徳本)：特に変更点はない。
  - ② 「HCはりま」からの入会希望者・飯田(はんだ)相生在住で神戸の労山にも加入している。⇒重複加入となるので、入会は断わる。

## 22年度 第1回運営委員会だより

開催日：2022-7-2(土) 於：かこむ 講座研修室 10:40～

出席者：上田、尾内、小田、垣内、島谷、砂川(延)、須増、荘所、高島、竹内、徳本、  
野村、春本、平井、藤本、藤原(千)、松下、三木(悦)、森本、安田、矢根、和田

### 議題

1. 次期会長の選出：次期会長に砂川延也を選出した。